

企業への災害時情報提供 仕組みを構築する考えは

委員 震災を機に防災対策を図っていた市内複数企業により、府中市企業防災協議会が立ち上げられたと聞く。市として災害時の情報を企業に提供することも重要と思うが、情報提供の仕組みを構築する考えはないか。

防災課長 同協議会は、市内大手企業8社により発足されたもので、市、消防署、警察署がオブザーバーとして加わっている。

現在、情報提供の仕組みを構築中であるが、同協議会の協議内容に情報共有化や火災発生時の連絡体制強化などの項目が含まれていることから、明確な形にして進めていきたいと考えている。

作業所等経営ネットワーク支援事業 具体的な取組と課題は

委員 作業所等経営ネットワーク支援事業について具体的な取組の内容と今後に向けての課題を聞きたい。

社課長補佐 同支援事業は、市内の福祉作業所等が共同で自主製品の販路、製品の拡大等を行いながらネットワークを構築していく事業であり、平成23年度の取組ではソフトキャンデーの開発などを行っており、マスクミ等でも度々取り上げられている。現状においては、障がい者の工



▲製品化されたソフトキャンディ

府中観光協会(フチノ)の 自主財源確保の取組は

委員 府中観光協会では、市からの補助金と同協会会員からの会費を主な財源として、様々な観光事業を実施していると聞く。財政上、補助金の増額等は難しいと考えられるため、同協会による自主財源の確保が必要不可欠になると

思うが、取組の内容や市としての考えを聞きたい。

経済観光課長 郷土の森観光物産館の一部を本市で貸し付け、同協会が事業展開をしており、販売品提供者から得られる販売手数料収入等によって自主財源を確保している。

集客が増えれば更なる自主財源の確保につながるため、今後、ある程度の活動資金が見込めると考えている。

高齢者の個人情報 府中警察署に提供した目的は

委員 先般の新聞報道によると、市内に在住する65歳以上高齢者の個人情報約4万7000人分を市から府中警察署に提供したとのことだが、その目的は、

総合窓口課長 平成23年11月に、振り込め詐欺やひったくりなど高齢者を狙った犯罪の予防及び各種事件、事故の未然防止を目的に府中警察署から情報提供の依頼があった。市では慎重に判断する必要があると考え、学識経験者や公募市民で構成する市情報公開・個人情報保護審議会に諮り、「公益上特に必要があると認めるとき」に該当するとの答申を受け、遵守条件を付した上で情報提供を行った。

防火シャッターの安全装置を 設置する予定の学校数は

委員 子どもたちの安全・安心のためには、今後も学校の施設整備をより強化していく必要があると思うが、防火シャッターの安全装置について、平成24年度に設置予定の学校数と設置時期を聞きたい。

また、設置予定のない学校において、25年度に設置を行う考えは、

総務課長補佐 24年度については、第三小学校や第四小学校など、小学校7校において、夏季休業期間を中心に設置を行う予定である。

また、設置予定のない学校については、中学校も含め、25年度以降の設置を検討していきたい。

総括

健康づくりの推進

委員 第5次総合計画後期基本計画の基本施策のうち、健康づくりの推進について、これまでに実施した事業の内容と平成24年度に行う新たな事業を聞きたい。

福祉保健部長 基本施策では、がんの早期発見や、乳幼児、高齢者の感染症予防を目標としており、これまで子宮がん、乳がん検診の無料クーポン券の配布や、肺炎球菌、Hib(ヒブ)、子宮頸がんのワクチン接種への助成を開始している。

また、24年度は、新たに41歳、46歳、51歳、56歳、61歳の市民へ大腸がん検診の無料クーポン券等を配布する予定である。

給食費徴収対策

委員 以前、未納問題が話題となった小・中学校の学校給食費について、市はこれまで徴収対策を強化してきたが、現在の未納の状況を聞きたい。

教育部長 平成19年度決算までは未納額が年間1000万円を超えている状況であったが、徴収対策の効果により、22年度決算では761万4905円となっており、21年度決算と比較すると194万8415円の減となった。

なお、対策としては、通知の配付や電話督促、職員による臨戸徴収などを行っているほか、23年度からはゆうちょ銀行でも口座引き落としができるようにしている。

財源不足対策

委員 平成24年度予算では経常的経費の削減が目立つものになったと思う。福祉や教育に係る経費も削減されているが、市民サービスを守る立場から、財源不足の解消に向けた市の対策を聞きたい。

財政担当参事 財源不足を早急に

解消していくためには、経常的経費の削減は避けて通れないものと考えている。

このため、公と民の役割分担を整理し、民間にできることは任せるとして健全財政の基盤を整え、持続可能な行財政運営に努めていきたいと考えている。

市施設の維持補修

委員 市では、平成22年度から継続して施設の維持管理のための調査を行っているようだが、今後の公共施設の維持補修についてはどのように考えているのか。

政策総務部長 22年度から市施設の耐震化状況等の調査や築30年以上の施設を対象とした簡易劣化診断などを行っているところであり、今後については、抽出した課題を踏まえ、公共施設に係る方針を取りまとめいく予定である。また、24年度には、全施設の簡易劣化診断を実施し、施設改修等の優先順位を検討していく予定であり、その中で具体的な取組についても決めていきたいと考えている。

総合防災訓練

委員 市では年1回、一時避難所に指定した学校等の中から1か所を利用して総合防災訓練を行っているが、中学校の学区ごとに行うなど、市内全域で一斉に実施することはできないか。

環境安全部長 本来なら、市内全域で市民が中心となり、自主的に訓練を実施することが望ましいが、活動できる市民が少ない等の理由から難しい面もある。

しかしながら、今後は災害時に対応した実践的な訓練が必要と考えているため、総合防災訓練の在り方を見直すとともに、複数地域での市民主体の訓練実施に向け、検討していきたいと考えている。

平成24年度各会計別予算額

区分	平成24年度	平成23年度	伸び率(%)	
一般会計	893億5000万円	883億5000万円	1.1	
特別会計	国民健康保険	221億5487万円	214億4625万6千円	3.3
	後期高齢者医療	40億1661万4千円	35億6444万円	12.7
	介護保険	128億3146万7千円	118億2098万1千円	8.5
	競走事業	1201億9632万3千円	1182億7895万8千円	1.6
	公共用地	17億8536万5千円	30億7529万2千円	△41.9
	下水道事業	36億8778万7千円	38億9856万4千円	△5.4
	火災共済事業	952万1千円	948万8千円	0.3
	計	1646億8194万7千円	1620億9397万9千円	1.6
合計	2540億3194万7千円	2504億4397万9千円	1.4	

平成24年度一般会計予算額(科目)別内訳

